



ニュースレター あすか

通算355号



もうコロナからは逃げられない？

新型コロナウイルス感染症の世界的流行が始まって3年が経とうとしています。すでに若い人で4回、高齢者は5回のワクチン接種が日本で行われつつあります。それでもこの感染症が収束する気配はありません。果たして私達はこの新型コロナに感染することなく生きていくことはできるのでしょうか。それともどこかでコロナに感染してしまう運命なのでしょうか。今回、2022年11月時点での日本全国の献血者のN抗体陽性率が発表され大阪大学の忽那賢志先生が考察をされているので紹介します。今後の私達のコロナとの戦い方を教えてくれている気がします。

高橋 祐輔

日本に住む4人に1人、沖縄県の2人に1人はすでに新型コロナに感染している 抗体調査から分かることは？



忽那賢志 感染症専門医

日本のN抗体陽性率の分布(厚生労働省調査結果より筆者作成)

厚生労働省の新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーリーボードにおいて、[日本における交代陽性率の調査結果](#)が報告されました。



新型コロナの抗体には大きくS抗体とN抗体の2種類があり、S抗体はワクチン接種をした人と感染した人のいずれも陽性になるのに対し、N抗体は感染した人だけが陽性になるものです。この結果からは、日本に住む約4人に1人、沖縄県の約2人に1人はすでに新型コロナに感染しているということになります。

日本の26.5%の人が過去に新型コロナに感染している

2022年11月時点での日本全国の献血者のN抗体陽性率(第108回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーリーボードを元に筆者作成)

献血者のN抗体の調査の結果、26.5%、つまりおよそ4人に1人が過去に新型コロナに感染したことがあると考えられました。

都道府県別に見ると、沖縄県(46.6%)、大阪府(40.7%)、京都府(34.9%)が高く、長野県(9.0%)、徳島県(13.1%)、愛媛県(14.4%)が低いという結果でした。なお東京都は31.8%が陽性でした。

沖縄県の16~69歳の約2人に1人はすでに新型コロナに感染したことがある、ということになります。

医療法人あすかの経営理念 『感謝 尊厳 謙虚 誇り』

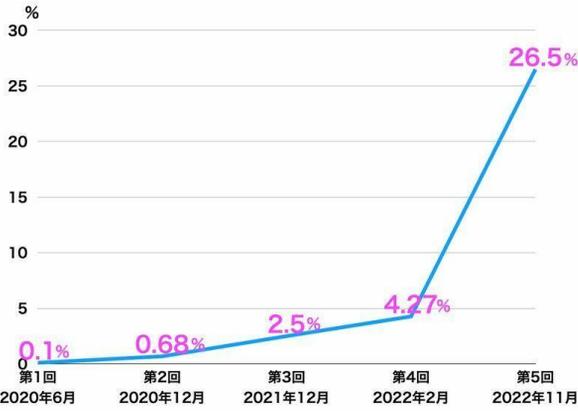
医療法人あすかは、地域の患者様、利用者様との出会いに感謝し、信頼される法人として常に最善の医療、看護、介護を提供することを使命としています。私たちの仕事は、人の尊厳を守り、人の人生によりよい影響を与え、支えていくことです。私たちは、心を込めて仕事をします。私たちは謙虚であり、仕事に誇りを持ち、社会に貢献していくことを喜びとしています。



【目次】

1. もうコロナからは逃げられない？①	1
2. もうコロナからは逃げられない？②	2
3. クリスマス特集	3
4. 事業所だより(ショートいわや3階)	4
4. 事業所だより(つどいの家)	4
5. 一押し紹介(あすか居宅)	5
6. おもしろきかな我が人生~首藤シズ子さん~	6
7. ご長寿の秘訣(まやるちょーく)	7
7. 地域清掃活動(療養センター)	7
8. わたしの好きなもの 第96回	8

オミクロン株以降に急激に感染者が増えている



第1回～第5回までの新型コロナの抗体陽性率の推移 (厚生労働省の資料を元に筆者作成)

これまでも国は抗体調査を行ってきており、今回が5回目となります。

毎回同じ検査系で行われたものではありませんが、概ね過去の感染者の割合を反映しているものと考えられます。

これまでの報告では、回を追うごとに徐々に抗体陽性率が高くなり、オミクロン株による第6波の最中である2022年2月に行われた第4回目の調査では全体の4.27%が陽性となっていました。

そこから9ヶ月後となる第5回目までに20%以上上昇しており、さらに2022年になってから24%上昇しています。

このことから、日本の約4人に1人が2022年になってから新型コロナに感染したことになります。

いかにオミクロン株の感染力が強いかよく分かります。従来のmRNAワクチンを接種した人はオミクロン株に感染しにくくなりますが、完全に感染を防ぐことは困難になってきています。

抗体陽性率 海外と比べるとどうなのだろう？



イギリスにおけるS抗体およびN抗体の推移 (UKSHA. COVID-19 vaccine surveillance report Week 48 1 December 2022より)

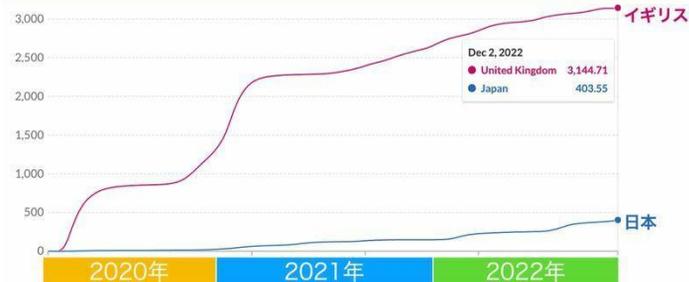
例として、定期的に抗体陽性率が報告されているイギリスと比較してみましょう。

イギリスでも献血者の抗体陽性率が定期的に調査されていますが、現在のイギリスのN抗体の陽性率は8割を超えています。

これはつまり、イギリスの人口の8割がすでに新型コロナに感染したことを意味しており、またオミクロン株が広がってから20%から80%に上昇していることから、大半はオミクロン株の流行以降に感染していることとなります。ハイブリッド免疫とは (DOI: 10.1126/science.abj22より) イギリスの場合は、S抗体の陽性率も201年半ばには90%を超えており、ほとんどの方がワクチン接種をしており、さらに8割の人が感染していることとなります。ワクチン接種した人が感染した場合、ハイブリッド免疫と呼ばれるより強固な免疫が得られると考えられています。イギリスの新型コロナ新規感染者数の推移 (Our World In Dataより)

イギリスは現在、このハイブリッド免疫を持つ人が多くなっている状況であり、マスクを着けている人が少なくても感染が広がりにくい状況にあると考えられます。日本がこの状況に至るまでにはまだ時間がかかりそうです。

人口100万人あたりの新型コロナによる累積死者数



イギリスと日本の人口100万人あたりの新型コロナによる累積死者数の比較 (Our World In Dataより)

といっても、イギリスも無傷でこの状況に至ったわけではありません。

イギリスと日本における人口あたりの新型コロナによる死者数は、およそ8倍です。

イギリスの方が、日本よりも多大な被害を被っていることとなります。

日本がこれから、被害を最小限にしつつハイブリッド免疫を持つ人を増やすのは至難の技と考えられますが、そのためには「急激な感染者の増加を生まない(できる限り小規模な流行に留める)」「重症化リスクの高い人がワクチン接種をアップデートした状態を保つ」ということが重要になります。

海外のコロナ以前に戻ったかのような状況を見るとつい羨ましいと思ってしまうのですが、よそはよそ、うちのうち、ということで日本に合ったペースで緩和を進めていくことが重要かと思えます。

参考: 第108回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード (令和4年11月30日)「献血時の検査用検体の残余血液を用いた新型コロナウイルスの抗体保有率実態調査(結果速報、概要)」

クリスマス特集

コロナ禍、いかがお過ごしでしょうか？

広島市内は、すっかりクリスマスモードです。イルミネーションがとてもきれいでした。カリフォルニア(サンディエゴ)の写真の入手しました。併せてお楽しみください。



広島市内のクリスマス風景



カリフォルニアのクリスマス風景



事業所だより

11月25日、ショートステイいわや3階では、芸術の秋にちなみ、『芸術祭』を行いました。

今年、藍染め」に挑戦しました。ガーゼハンカチを1人1枚輪ゴムで好きな場所を数か所縛っていただき、染め液につけていただきました。準備の時点で、一部の利用者様は「まらんよ」と言われていましたので心配していましたが、無事、きれいな模様が付きましました。職員一同、ホッと



いわや3階

いたしました。

利用者様は、色・模様がついたガーゼハンカチをお互いに見せ合い、できたよ。」「きれいなね。」「と嬉しそうにされておりました。

天気も良く出来上がったガーゼハンカチを窓辺にかざして楽しまれていく姿も見られました。これからも楽しいイベントを考えてまいりますので、楽しみにして下さいね。

田島史織



事業所だより

魚釣りゲームに巨大かるたなど、つどいの家では色々なゲームを日々行っていますが、最近流行っているのは傘とピンポン玉を使ったゲームです。つどいでは「傘ルーレット」と呼んでいます。

天井からひもで傘を吊るし、職員が傘を回します。ご利用者の方々にはその傘めがけてピンポン玉を投げ入れていただきます。傘の中に仕切りと点数があり、ピンポン玉の入った合計の点数を競うというとてもシンプルなゲームなのですが、回すスピードが速いこともあり、意外と難しいようです。傘の位置が少し高いところにあることもあり、皆様しっかり腕を上げて

つどいの家

玉を投げて下さい。点数は10点から1万点まであり1回のゲームで高得点を取られる方もたくさんいらっしゃいます。また、ピンポン玉の色が黄色のものは得点が倍になるなどのルールもあり、黄色のピンポン玉が1万点のところに入るととても盛り上がりです。職員が傘を回すので時折スピードが変わりますが、いつも皆様笑って下さいます。また、ゲームの終わりに合計得点を計算出しますが、ご利用者の皆様は計算も速く、1万点を超える桁の大きな数も頭の中で素早く考え、職員に教えて下さいます。



一押し紹介



佐々木 幸江



11月23日宮島の弥山に登りました。コースは博奕尾(ばくちお)という敵島合戦で毛利軍が通った山道9.3kmです。稜線沿の右側に大鳥居、左側江田島などの島々が楽しめます。

下山すると、70年ぶりに3年かけて修復された朱色の大鳥居が目に入ってきました。導かれるように、1カ月間だけ開放されていた工事用通路から鳥居と社殿を眺め、その美しさに心が洗われました。12世紀ごろ建立された大鳥居。そして神の島宮島。これからも訪れるたびに、私の身も心も元気にしてくれることでしょう。悠久の時に包まれ「心を委ねることが出来る大好きな場所です。



70年ぶり化粧直した大鳥居



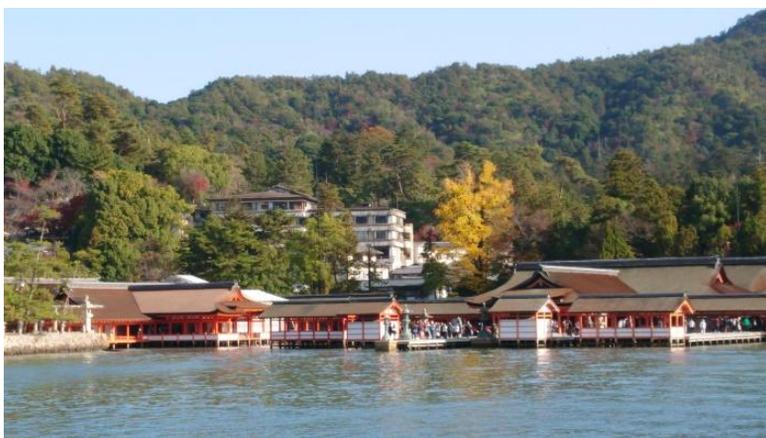
弥山からの瀬戸内海



弥山から見た瀬戸内海



宮島晩秋の高陽



大鳥居から見た社殿



山から見た大鳥居

あすか居宅

山登り

宮島編



あすか居宅介護支援事業所介護相談会

介護相談会を下記の日程で行います。お気軽にご相談ください。お電話でのお申込みや当日のご相談も受け付けております。

毎月第2火曜日(次回1月10日)

時間:10:00~12:00

場所:あすか居宅介護支援事業所
広島市安佐南区緑井三丁目20-1-103

電話:082-830-5177

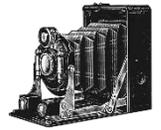




おもしろきかな我が人生

ショートいわや2階

シュトウ シズコ
首藤 シズ子さん



昭和4年2月25日生まれ(93歳)

四国の愛媛県内子町で生まれたの。ろうそくで有名なところ、わりと賑やかな町だったと思うよ。

私は10人兄弟の一番上。子供の頃から弟や妹の面倒をよく見ていたよ。私も子供だけ、背中にはいつも弟や妹を背負っていてねえ。背中が空いていることはなかったくらい(笑)

ほとんどが年子だったからね。家の手伝いもよくしたもんよ。長女だから70代の頃

戦争があつたから食べる物もないし、勉強なんかもほとんどできなかったねえ。軍事工場で飛行機の翼を作りよつたよ。みんなが大変な時代だったよ。今は食べるものもたくさんあるし、多かつたら残すこともあるし：贅沢なもんよ。青春と呼べるようなことはなかったね。

今でも思い出すのがね、終戦でお父さんが帰ってきてからだったと思うんだけど、うどんを捏ねてくれるんよ。それを子供たちで伸ばしたり切ったり湯がいたりして、つゆを作って食べたんよ。おいしかった思い出。

20〜30代の頃
色んなことがあつたねえ。全部はうまく思い出せないけどいろんなところで働いたよ。

30代で結婚して自分で食堂もやったよ。ご縁があつて古市で『歸月食堂』をやっている人からお店を引き継ぐことになってね、主に中華そばだったんだけど何も教えてもらわなかったから独学でね、出汁をとってつゆの作り方を研究したよ。自分で言うのもなんだけど、お

いしかったと思うよ(笑)。近くに電話局があつたから、お昼にはよく食べに来てくれたし、出前も多かったねえ。主人が違つところで働いていたから仕事が終わったら、出前を手伝ってくれよつたんよ。魚の煮つけなんかもよく出たからおいしかったんだろね、まあまあ繁盛したとつたと思うよ!

72歳の時に主人が亡くなつてね、お店もしばらくしてやめたんよ。一人じゃあ難しくなつてきたし、身体もきつくなつてきたしね。寂しかったよ...

【宝物】
お店をやつたことで嬉しかったことは人との『縁』。若い世代の人との会話や世話を焼くのも楽しかったし、仲間もしたりしてね。『歸月食堂』で出会つた人との縁は今でも一番の宝物。本当にありがたいと毎日思うよ。本当に本当に宝物。

【病気をしてから】
2022年2月に小脳梗塞で入院。退院してからここ(ショートいわや)に来ただけだね、やっぱり病気のせいか所々記憶が曖昧なところもあつてね。夜寝とつてあれはどうじゃつたかいねえ、どうなつとるんかいねえ...と考えることがあるよ。

でもね、いろんな人に助けってもらつて今があると思うと、申し訳なさ感謝じやね。お隣さんが家の庭をきれいにしてくださるし、山口県や大阪からも会いに来てくれる人がおる。本当にうれしい事と思つて感謝しとるんよ。清美さんにも本当に感謝しかない。本当にありがとうね



いろいろなイベントを楽しまれています♪



職員より

スポーツ観戦が大好きな首藤さん、いわやのお母さんの存在の首藤さん

去年のオリンピックの際は寝不足気味でもしっかり応援しておられました!また、カーブの大ファン。これからも一緒にカーブの応援をしましょう!よろしくお願します。マイナンバー用の写真を撮りました。出来上がりが楽しみですね!

「長寿の秘訣



さだやす えみこ
貞保 恵美子様

昭和3年12月1日生まれ(94歳)



今月誕生日を迎えられた貞保さん。
「おいくつになられたんですか？」と伺うと
「まだ若いんで「ございますよ」と、笑顔で茶目つ
気たっぷりに返して頂きました。
長寿の秘訣を伺うと「まやるちよーくに來さ
せてもらうようになってから、穏やかに立っ
たよ。イライラすることがあってもね、腹を立て
ることもなく感謝できるようにしたよ。私は
もともと心地悪なんよー」と大笑い。100も
近くなると体力もなくなるとね、いい子
になるんじやねえ。」としみじみおっしゃいま
した。
お一人で生活されているため、食事の支度は
近くに住む娘さんが毎日されているそうです。
「いつもおいしくてね、食べすぎるよ。本当によ
く食べるんよ。夜中もテレビが面白くて、テレ
ビを見ながら夜な夜なつまみ食いも止まらな
いよ」とこどもでも大笑い。洗濯や洗い物などこ
自分でされるのは大変ではないですか」と伺う
と、「無理のないようお手伝いに来て下さる方
もいるし、楽しんでやっているよ」と、感謝の言
葉を口にされます。



書道



ゲームと体操

いつも笑顔が素敵な貞保さん。職員にも頑
張ってるね「いつもありがとう」とよく声をかけ
てくださいます。貞保さんを見てみると「しっかり
食べる事、感謝の気持ちを持つ事、笑う事」が長
寿の秘訣のかなと思います。これからもお元気
でまやるちよーくで笑顔を見せてください。
(立田あおい)

まやるちよーく



before



after



地域清掃活動」
あすか療養センターでは
恒例の地域清掃を行いま
した。
年に2回、梅雨明けと、冬
に入る前に行っています。
さすがにこの時期は葉っぱ
も枯れて夏に比べると雑
草は少ないです。とはいえ、
これから来る寒い冬に向け、
雑草もしっかり根を張り
容易に抜けません…そし
てこの時期はセンダングサ
(通称ひつつき虫)がいたる
所があり、軍手や服につい
てチクチクしながらの草取
りになりました。
ご通行される皆様が気持
ちよく通れるよう、また
来年も頑張つて草取りを
行います。



あすか療養センター



【原爆体験記】



ショートステイみどりい
ごまだ つねこ
胡麻田 常子さん(95)

最近原爆の事を話す人がおらんくなってきたからね。私が死ぬ前に話しときたいんですよ。あんなタイプ打てるんじゃないよ？こないだも私の事新聞に書いてくれたもんね。ちよつと短編小説でも書いてくれんかねえ」

介護の仕事を始めたら色々な利用者様から原爆や戦争について話を聞く事がありますが、こういふ形で話をされたのは初めてでした。広島で生活している私には原爆についてよく知っておくべき義務があるなと思いい記事に書かせていただきます。

原爆が落ちた時に私は区役所におつたんじゃないけど、ピカドンが落ちて、ピカッと光ったかと思つたらドーンって大きな音がしてね。じゃけえピカドン。そしたらね、手の皮がだらーっと垂れた人達がたくさん来たんですよ。もうほんとダラーって。凄かったよ。この世の光景じゃなかった。私らもじゃけど、他の無事だった人もみんな知り合いが無事か探しに行つてね。気が気じゃなかったよ。その道の途中で兵隊さんがね、死体を焼きよるん

よ。誰が誰かわからなかったけど、もうそれどころじゃないよね」

「ぼだしのゲン」や戦争の映画でそういうシーンを何度も見た事がありますが実際に経験した方から話を聞くととてもリアルに光景が浮かんできました。

「しばらくしてからね、みんなで米を炊いたんですよ。田舎じゃけえ米はたくさんあつたんですよ。じゃけえ山ほどの米を炊いて、あつーいおにぎりをたくさん手で握つてね、兵隊さんや他の人に配つたんですよ。でもね、広島駅の前には親を亡くした子たちには蛆虫が湧いててね。悲惨な状況だったよ。戦争は絶対にしたらいけん。本当にそう思った。」

興奮気味に話しをされる胡麻田さん。一つ一つの区切りで表情が変わっていくのが分かり、体験した時にはいろいろな気持ちがあじり合つてなんとも言えない気持ちだったのだろうなと思いました。現在も海外では戦争が続いていますが、戦争を起こしても何もないことはないなと思います。早くこの世界から戦争がなくなり平和な世の中になる事を祈っています。



95歳お誕生日



医療法人あすかの関連施設

緑井3丁目 20・1
あすか居宅介護支援事業所

082-879-05177
あすか病児保育室
児童デイサービス ぱるみどりい

緑井2丁目 12・25

高橋内科小児科医院
デイサービスセンター
まやるちよーく
通所リハビリテーション すてっぷ
ショートステイ みどりい
小規模多機能型居宅介護事業所
つどいの家

あすか療養センター 緑井3丁目 40・30

毘沙門クリニック
ショートステイ いわや

緑井2丁目 11・11・102

あすか訪問看護ステーション

毘沙門台東1丁目 24・16
デイサービスセンター

しゅりあちよーく

あすかケアプラザ 中須1丁目 26・12

ヘルパーステーション あすか大町
デイサービスセンター あすか大町
ショートステイ あすか大町
サービス付き高齢者向け住宅
レジデンスあすか
あおぞら保育園

毘沙門台東1丁目 24・16

児童デイサービス ぱるびしゃもん

緑井2丁目 9・31・102

児童デイサービス ぱるひよし

“ニューズレターあすか”は
当法人のホームページ上でも見ることができます
全編カラーで掲載しておりますのでぜひご覧ください
<http://www.asuka-net.or.jp>



医療法人あすか

Mail: asuka@smail.plala.or.jp

〒731-0103 広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL: 082-879-3143 FAX: 082-879-3190

(編集:今中 峰三子 澄川 幸子)

【編集者のつぶやき】

師走に入りましたが、まだまだコロナは収束を見せる気配はなく、だんだん身近な存在になってきました。先月、息子家族がコロナに感染し10日間自宅で静養したと聞きました。幸い軽い症状で経過したとのことでした。目に見えないウイルスとの闘いはまだまだ続きます。とにかく、マスク着用、手洗い、アルコール消毒、密を避ける等の感染対策を継続していきます。マスク生活が続く中、いろいろな形や色のマスクを購入し楽しんでいきます。©